



関東歯内療法学会第19回学術大会及び総会が開催されました

2020年1月26日（日）に東京・秋葉原コンベンションホールにて

大会長：平井順先生（神奈川県開業）

実行委員長：岸本英之先生（東京都開業）

テーマ：『再根管治療のここがポイント！－根管充填材の除去』

◇テーマ講演

「再根管治療における根管充填材除去の意義とその方法」

田中 浩祐（東京都港区 石井歯科医院）

「再根管治療のエビデンスと勘どころ」

田中 利典（東京都杉並区 川勝歯科医院）

「ガッタパーチャ除去へのこだわり」

吉岡 俊彦（広島県広島市 吉岡デンタルキュア）

◇一般口演（5演題）

「髓床底穿孔症例を成功に導くKey Point」

○石崎秀隆 東京都千代田区 岡口歯科クリニック

「歯科用CBCTと手術用顕微鏡を用いた歯内歯の治療」

○佐古 亮 東京歯科大学歯内療法学講座

「誤診を防げ！診断に取り入れたい仮説演繹法と筋触診法」

○宮島 大地 神奈川県川崎市 ダイアモンド歯科医院

「大きな根尖病変に対して非外科的感染根管治療により改善した1症例」

○山内 真人 東京都渋谷区 代々木歯科

「Er:YAGレーザーならびに半導体レーザー照射による歯髄細胞に対する影響」

○山川 駿次郎 鶴見大学歯学部歯内療法学講座

◇受賞講演

「根尖周囲の透過像は失活を意味するのか」

岡口 守雄 東京都千代田区 岡口歯科クリニック

大会長賞に石崎秀隆先生が投票の結果選ばれました

参加者227名（有料204名、無料23名）

協賛企業 東京歯科産業株式会社、株式会社デンタルダイヤモンド社、デンツプライシロナ社、ペントロンジャパン株式会社、茂久田商会、株式会社モリタ、株式会社リード（五十音順）

なった。

午前中のテーマ講演では、「根管充填材の除去」をテーマに田中浩祐先生（東京都港区）、田中利典先生（東京都杉並区）と私が45分ずつ発表を行った。3人が同じ話題について講演するという事で、内容の重複が不安ではあったが、蓋を開けて見ると三

広島県開業 吉岡 俊彦

2020年1月26日に秋葉原コンベンションホールにて第19回関東歯内療法学会学術大会・総会が開催された。

事前参加・当日参加を合わせて約230人の参加者が集まり、非常に活気あふれる会と

者三様であった。

田中浩祐先生からはアメリカにおける初回治療・再治療の割合、初回治療でも再治療でも根管内の細菌感染除去のための治療であることの解説の後、超音波・NiTiファイルを用いた根管充填材除去の術式が示された。

田中利典先生からは再根管治療における診査診断の注意点として、エンド的な目線だけではなく、再修復・再補綴が行えるかなどを含めた総合的な診断が必要である旨の解説があった後、症例提示と共に溶解剤に関する詳しい解説などがなされた。

私からは実際に使用している器具の提示・術式の提示を行った後、根充材の状況をデンタルで判断した上で除去に臨もうという提案を行った。一般口演では石崎秀隆先生、佐古亮先生、宮島大地先生、山内真人先生、山川駿次朗先生が発表され、受賞講演では昨年鈴木賢策賞を受賞された岡口守雄先生が「根尖周囲の透過像は失活を意味するのか」と言う演題で口演され、「根尖部透過像＝歯髓の失活」ではなく、歯髓炎でも根尖部に透過像が出現することを多くの症例と共に解説された。

懇親会では石崎先生が鈴木賢策賞を受賞された。最後まで多くの先生と意見交換などが活発にでき、大変有意義な1日となった。

第19回学術大会アンケート集計

参加人数 227名 回収枚数59枚

Q今回の学術大会に参加されていかがでしたか？

- ・GPの除去のトピックスで、とても身近な内容であったため。
- ・ガッタパーチャ除去に特化したセミナーで、詳しく知ることができて良かった。
- ・マイクロの使用時の、GP除去の方向性が明確になった。

・再RCT時のGP除去に必要なテクニックや器材を学ぶことができた。

・テーマ講演が面白かった。テーマが良かった。

・日常の治療でも「根管充填材除去」はよく行う事なので、とてもためになりました。

・前半の「根充材の除去」は、エンドに熱意を持てば持つほど頭を悩ませる項目です。良かった！抜髄は開腹手術と同義であることを、特に若いDrが気付いてくれたと思います。今回は全て素晴らしかった。今後も広く若いDrのニーズを探ってください。

・とても臨床的な内容が多くて、勉強になりました。

Q今回の講演の内容は、今後の診療に役に立ちますか？

・GP除去、パーフォレーションの封鎖は大変参考になりました。

・異なる視点からの診断方法を教わったため。

・筋触診について知れて良かった。再根治の内容も実践できそうで分かりやすかった。

・エビデンスと実際に専門医の先生の手技を勉強できた。

・特別な器具器材を必要としないので、すぐ始められる。

・疼痛の診断など初めて知った。学会にも参加したいと思う。

・再根管治療の考え方を多く学べた。

・使用したい器具、方法が明確になった。

・筋膜痛について知ることができた。

・日常的に生かせるような話だった。実際の臨床に即した内容だった。

・自らの診療の見通しと、新しい知見を得た。非歯原性顎顔面痛の診断と、患者さんを全体で診ることの大切さを再認識

た。つまり「木を見て森を見ず」にならないことである。

- ・もっと臨床に即した内容にしてほしい。

Q今回良く理解できた事は何でしたか

- ・GP除去と歯髄の保存。GP除去時の注意点、タイミング等。
- ・筋膜痛。
- ・GP溶解剤について。GP除去の手法、器具の選択、具体的方法。
- ・感染源の除去など。
- ・GP除去で気を付けるポイント、どういう器具が使いやすいか。
- ・髄床底穿孔部へのアプローチ。
- ・根尖孔付近や根尖孔外へ溢出してしまっているGPへの対処法や考え方（深追いしすぎない）
- ・再根管治療時のGPの除去方法。再根管治療の予後。
- ・細菌をコントロールする事が大切。
- ・先生方の実際の臨床映像が見られた。

Q今後、どのような講演をご希望ですか？

- ・湾曲根管など難症例へのアプローチの仕方、手技。
- ・現在のNiTiについて。
- ・外科的歯内療法について。
- ・根管内が石灰化した根管治療法、根管口がなかなか明示できない症例なども。
- ・歯内歯や槌状根の感染根管治療、マイクロ口の活用。
- ・MTA症例、MTA根充のテクニック、予後
- ・咬合とエンド
- ・破折リーマーの除去、MTAの種類、特性、メーカーによる差異。
- ・マイクロエンドでどこまで拡大をしたら良いか。
- ・内部吸収と外部吸収について。
- ・レーザーの応用、PIPS等。

・保存学会のような形式的な講演はやめてほしい。

- ・支台築造（レジンコア、スクリューポスト、ファイバーポスト）、メタルコアの除去について。
- ・Apico等、外科のノウハウについて。
- ・根管充填について。

関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：

golden-circle@nifty.com 関東歯内療法学会2

会員の皆様へ

関東歯内療法学会では、毎年夏にはハンズオンセミナー、サマーセミナーを開催してきました。

しかし現在、緊急事態宣言は解除されていますが、新型コロナウイルス感染症はいまだ終息していない状態です。

そこで、会員の皆様、演者の先生方の健康、感染予防を考慮し、人が密になる会場で開催するセミナーは中止としました。

それに変わるWebセミナー開催なども考えていますので、ご意見があればお願いします。

今後、学会・学術集会などのあり方も変化してくるかと思いますが、関東歯内療法学会は会員の皆様へ臨床に役立つ情報を発信していきます。

関東歯内療法学会 会長

石井隆資